



今月の大槌とびと

一般社団法人槌音

臺

隆

明さん

今年の5月に三陸花ホテルはまぎくで栽培されている「ハマギク」の種が宇宙に向け打ち上げられる予定で、1月16日に三陸花ホテルはまぎくにおいて出発式が開催されました。今月はこの出発式に携わった一般社団法人槌音の臺隆明さん(表紙前列中央)にお話しを伺いました。

感謝の思いを込めて

この取り組みは震災から10年を迎える節目に、これまでの支援に対する感謝を発信したいという思いから東北宇宙ミッション実行員会が主催し、その出発式に関わらせてもらいました。ハマギクの花言葉は「逆境に立ち向かう」。まさに大槌町にふさわしいと思います。

この取り組みのほかにも、今年の3月11日に被災地の子どもたちから募集した復興支援に対する感謝のメッセージを宇宙飛行士の野口聡一さんが国際宇宙ステーション(ISS)から全世界に向けて発信します。大槌町の子どもたちのメッセージもありますので、楽しみにしてください。

音楽をとおして

「槌音」は子ども達が音楽をとおし、社会と繋がる環境を築くことを目的に活動していて、被災地の子供たちに音楽教育などを行っているエル・システ

マジヤパンと協力しながら大槌子どもオーケストラへの指導や音楽イベントを開催しています。今回の出発式でも、宇宙に向かうはまぎくの種の採集や式典での演奏をキッズコーラスあぐどまめと大槌子どもオーケストラにさせてもらうことができました。震災から10年を迎え、町は確実に復興しています。いままで支援していただいた多くの方々に、復興に向かう町の姿と感謝の思いを音楽にのせ届けていきたいです。

